



# 「志」大野中だより

令和7年12月9日(火)

文責:校長 瀬口 勇治



## 大野中学校「防災フェス」を実施しました。

11月29日(土)は、市民総ぐるみ防災訓練の日で、大野城市内小中学校すべてが登校日となり、防災訓練を実施しました。

大野中学校では、PTAや父中会の皆さん、大野城市役所、地域の皆様にご協力をいただき、大野中学校「防災フェス」を開催しました。

例年行っている避難訓練を実施した後、「防災フェス」として、まずは、春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 消防司令長 的野様から「消防の仕事と地域を守る心」と題して、講話いただきました。次に、大野城市危機管理課からお借りして、保健委員の代表で、防災トイレ、防災ベッド等の設置体験を行いました。また、給食委員の代表で災害時の食事の作り方の体験をしました。

最後に、「わくわく豚汁会」が催され、全校生徒でグラウンドに出て、PTA、父中会の皆さんから振舞われた温かな豚汁をいただきました。心も身体も温まるそんな「防災フェス」になりました。

ご協力いただきましたPTA、父中会、関係者の皆様に深く感謝いたします。

今回の体験を生かし、もし、本当に災害が起きたときに、中学生に求められる役割とは何かをしっかりと感じてもらいたいと思います。「自助」(家族を含む、自分自身の身の安全を守ること)はもちろん、「共助」(地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと)においても、大きな力となって役割を担うことができるようになることが中学生には期待されています。



## 11月20日(木)大野中学校ブロック研究発表会を開催しました。

11月20日(木)に、筑紫地区人権校育研究交流推進委員会研究協力校事業大野中学校ブロック研究発表会を開催しました。中学校からは、公開授業を実施する4学級の生徒が大野小学校に移動し、小学校の教室で授業を行いました。懐かしい教室で、少し小さめの机と椅子での授業となりました。

300名を超える参観者の中で、人権教育に関する道徳科、社会科の授業を見ていただきました。もちろん大野小学校の児童も一緒に公開授業を行い、9ヵ年を通した学びの姿を見ていただく良い機会となりました。

小中学校の児童生徒がしっかりと授業に向き合い、互いの意見を交換しながら自分の考えを深めていく姿は、多くの先生方に褒めていただきました。小中学校が一緒になった素晴らしい研究発表会となりました。



『面白いと思うこと突き詰めていくこと ノーベル化学賞の受賞 京都大学副学長 北川 進 特別教授』  
2025年10月8日、スウェーデンで開かれた発表で、京都大学の北川進教授が、Richard Robson 教授と Omar M. Yaghi 教授とともに、2025年ノーベル化学賞を受賞しました。

受賞の理由は、金属と有機物を組み合わせて作る「金属有機構造体(MOF)」という、新しい“穴あき結晶”の材料を開発したためです。この MOF という材料は、中にたくさんの小さな「すき間(穴)」をもつ結晶で、ガスを吸ったりためたり、水を空気から取り出したり、不要な化学物質を分けたり——と、地球の環境やエネルギー、資源といった大きな問題の解決に使える可能性を持っています。

ノーベル賞の正式な授賞式は、2025年12月10日にスウェーデン・ストックホルムで行われる予定です。

北川教授は6日、ストックホルムの日本人補習校の生徒ら100人を前に研究テーマである「多孔性金属錯体」について講演しました。生徒からは、こんな質問も… 生徒「ノーベル賞をもらうためじゃなく、ただ面白いからやってたんですか？」北川教授「そう。面白いことをまずやらなダメ。自分が面白いと思うことを突き詰めていく。だから好きなことをやる、興味あることをしっかりとやるというのが重要です。」 “凄いですね”

### 今後の行事予定

日程	学校行事	日程	学校行事
12月11日(木)	暴力団排除教室【全学年】	12月25日(木)	生徒会リーダー研
12月17日(水)	科学技術講座【2年生】	1月8日(木)	始業式
12月24日(水)	終業式、生徒会リーダー研	1月9日(金)	冬休み課題テスト